

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 美祢市地域公共交通協議会（利便増進計画推進事業）の概要



美祢市の概要

- ・平成20年3月に1市2町が合併
- ・人口 23,247人（令和2年国勢調査）
- ・面積 472.64平方キロメートル

協議会の構成員

美祢市 学識経験者 山口運輸支局 JR西日本 路線バス事業者
タクシー事業者 山口県警察署 公募委員 等

地域の概況・公共交通の概況・問題点

- 事業実施前の地域公共交通の概況について
 - ・別紙のとおり。
- 問題点
 - ・地域の多様な関係者の「共創」（連携・協働）により、地域公共交通ネットワークの「リ・デザイン」（再構築）を進め、利便性・生産性・持続可能性を高めることが必要
 - ・これまで以上に、協議会で多様な関係者が交通施策について活発に議論し、関係者全員で持続可能な地域公共交通を目指すことが求められている。

事業実施に際しての目標等

- ・交通会議の円滑な運営
- ・住民や利用者、交通事業者、行政関係者など多様な関係者の意見を交通施策に反映
- ・公共交通計画に位置付けられる評価指標（数値）をもって、会議内で説明することで議論を具体化し、関係者間の理解促進につなげる。



推進事業の実施

推進事業の計画期間

令和5年10月1日から令和10年3月31日まで

推進事業の実施事業

別紙のとおり

本年度事業の取組内容

- 交通事業者から提供されたデータのとりまとめ
- 事業改善の方向性の検討

本年度事業の結果概要

- 市内の公共交通について、評価検証を行い、次年度以降の運行改善につなげるため、関連する鉄道1者、路線バス6者、タクシー4者の利用実績データをとりまとめ、評価検証を行った。
- 評価検証結果を基に、次年度以降で10路線以上あるジオタクやジオバスの利用状況を詳細に分析し、段階的な運行改善や利用促進策を検討する。

事業実施の適切性

- 計画通り事業は適切に実施された。



事業の今後の改善点

- 各交通事業者からデータの提供を受ける際、入力様式を作成し作業は効率化されたが、データの集計やとりまとめの作業については作業量が多いため、業務の効率化が必要である。
- ジオタクについては、日々の利用状況（いつ、だれが、どこからどこまで利用した等）が把握できるため、利用状況を定期的にモニタリングしながら、利用促進や運行改善ができる仕組みが必要である。

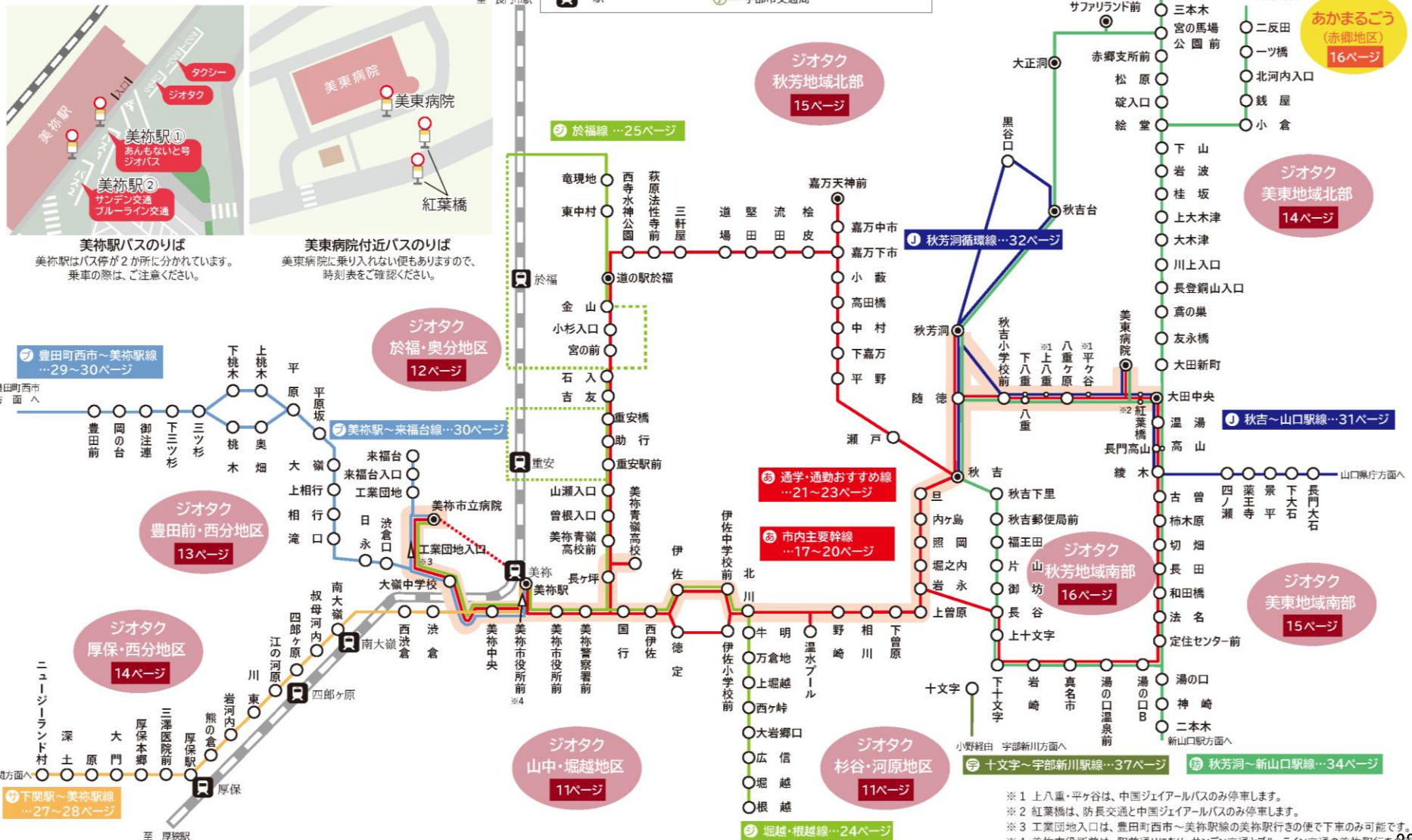
路線図



美祿駅バスのりば
美祿駅はバス停が2か所に分かれています。乗車の際は、ご注意ください。

美東病院付近バスのりば
美東病院に乗り入れない便もありますので、時刻表をご確認ください。

- 市内主要幹線区間
- バス停
- ジオタク
- あかまろう
- JR美祿線
- 駅
- あんもない号
- ジオバス
- ブルーライン交通
- サンデン交通
- 中国ジェイアールバス
- 防長交通
- 宇部市交通局
- フリー乗降区間
- フリー乗降区間



豊田町西市方面へ
豊田町西市方面へ

下関駅方面へ
下関駅方面へ

至 長門町駅

至 厚狭駅

※ 1 上八重・平ヶ谷は、中国ジェイアールバスのみ停車します。
 ※ 2 紅葉橋は、防長交通と中国ジェイアールバスのみ停車します。
 ※ 3 工業団地入口は、豊田町西市～美祿駅線的美祿駅行きのみ下車のみ可能です。
 ※ 4 美祿市役所前は、駅前通りにあり、サンデン交通とブルーライン交通の美祿駅行きのみ停車します。

別紙 推進事業の実施事業

交通事業者から提供されたデータのとりまとめ

路線別一日あたりの利用者数（あんもないと号の路線の一部）抜粋

事業者名	系統名	発地	着地	平成27年度		平成30年度		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
				全	市関連	全	市関連	全	市関連	全	市関連	全	市関連	全	市関連	全	市関連
	美祢駅～厚狭駅	美祢駅	厚狭駅	5	5	7	5	7	5	3	3	1	1	3	3	1	1
	市立病院～二ツ道祖	市立病院	二ツ道祖	7	7	1	1	2	2	3	3	1	1	5	5	1	1
	船木～堀越	船木	堀越														
	船木～堀越 こもれびの郷経	船木	堀越														
	美祢駅～石柱溪	美祢駅	石柱溪	3	3	2	2										
	市立病院～石柱溪	市立病院	石柱溪	3	3	3	3										
	美祢駅～堀越	美祢駅	堀越	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
	美祢駅～根越	美祢駅	根越	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	市立病院～根越	市立病院	根越													5	5
	根越～市立病院	根越	市立病院	6	6	8	8	7	7	4	4	5	5	4	4		
	市立病院～道の駅於福	市立病院	於福道の	3	3	3	3										
	美祢駅～道の駅於福(石)	美祢駅	於福道の	0	0	1	1										
	市立病院～道の駅於福(荒)	市立病院	道の駅於	5	5	10	10										
	市立病院～上宗済(お)	市立病院	上宗済	19	19	11	11	9	9	5	5	6	6	10	10	13	13
	市立病院～杉谷(フ)	市立病院	杉谷	22	22	19	19	32	32	13	13	11	11	22	22	28	28

事業改善の方向性の検討

事業評価・検証の一部抜粋（第一回 美祢市地域公共交通協議会資料より）

目標を達成するための取組	達成状況・分析	今後の課題や取組	評価指標				
			指標内容	調査方法	計画記載値 (令和3年度)	令和5年度実績	目標値 (令和9年度)
目標(1) あんもないと号でけしやす公共交通を継続して運行する							
取組① 広域幹線の維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 住民説明会の開催等による地域ニーズの収集 公共交通の1日あたりの利用者数は303人から25人減少している。 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、収支率は改善している。 行政負担の増加は学校の統合によるスクールバスの増便やジオタクの区域拡大、ジオバスの運行開始などが要因として考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内バス路線乗降調査による利用状況や収支率等をデータ分析・検証の上、利用ニーズに合った持続可能な運行内容を検討する。 	公共交通の1日あたりの利用者数	交通事業者から提供	民間路線バス 237人	278人 (令和4年度303人)	547人
			民間路線バスの収支改善率(取組①③④⑤)	交通事業者から提供	25.90%	31.05% (令和4年度29.7%)	前年度より1%改善
			公共交通の行政負担(取組①～⑤)	交通事業者から提供	236,548,000円	313,632,794円	313,552,000円
取組② 地域の実情に合った支線の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ジオタク運行区域の拡大 ジオタク杉谷・河原地区の運行開始 自家用有償旅客運送(ジオバス)於福線、堀越・根越線の運行開始 	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況や稼働率をデータ分析・検証の上、利用ニーズに合った運行区域、便数及びダイヤ等を検討する。 	公共交通の1日あたりの利用者数	交通事業者から提供	ジオタク 56人 ジオバス -	56人 17人 (令和4年度ジオタク60人)	70人 34人
			ジオタクの稼働率	交通事業者から提供	41.96%	43.00%	45%以上
取組③ 市内主要幹線の充実	<ul style="list-style-type: none"> 運行経路の変更(温水プール、美祢青陵高校への乗り入れ) 高規格無料シャトルバスとの統合 乗降ダイヤの調整 	<ul style="list-style-type: none"> 部活の地域移行を進めている教育委員会と連携し、児童・生徒が利用しやすい便数及びダイヤ等を検討する。 利用状況や住民意見を収集しながら利用ニーズに合った運行内容を検討する。 	公共交通の1日あたりの利用者数	交通事業者から提供	あんもないと号 165人	171人 (令和4年度149人)	170人
取組④ 都市拠点・地域拠点の移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ブルーライン交通の経路変更による都市拠点の両面性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 秋芳総合支所の立て替えにより、地域拠点の主要結節点を秋芳総合支所へ変更する。また、あんもないと号とジオタクが敷地内に乗り入れできるように、利用者の利便性向上を図る。 					
取組⑤ 利用しやすい運賃・ダイヤの設定	<ul style="list-style-type: none"> 美祢地域西部の均一運賃制度の導入 公共交通機関間の乗換ダイヤの調整 	<ul style="list-style-type: none"> 市内バス路線乗降調査による利用状況や収支率等をデータ分析・検証の上、利用ニーズに合った持続可能な運行内容を検討する。 					
取組⑥ 運転士確保の支援	<ul style="list-style-type: none"> 美祢市地域公共交通運転士確保支援補助金の創設 山口県県史連携都市圏域事業としてバス・タクシー運転士体験会&就業説明フェアを開催 夜間タクシー運行支援 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者とピアリング等を実施し、ニーズに合った施策を進めていく構画がある。 					
目標(2) 経営でも農村な公共交通を継続する							